

(地独)東京都立産業技術研究センター 第二期の業務実績評価項目(素案)のポイント

○ 素案の位置づけ

試験研究分科会でご議論していただくための「たたき台」として、事務局で作成したものです。
第二期中期計画の体系に沿って評価項目を設定し直すとともに、これまでの業務実績評価の中で課題として挙げられたご意見などを踏まえて、項目の整理を行っています。

○ 第一期の評価項目との主な変更点

項目	第一期の状況	第二期評価項目(素案)の考え方
技術相談	サービスの質の向上に向けた取組と、量的な実績(件数)とを、別々の評価項目として設定。【No.14、15】	サービスの質の充実と件数の増加は密接に関連するため、両者を総合的に評価できるよう、評価項目を一つにまとめる。
依頼試験	〃 【No.12、13】	〃
機器利用サービス	〃 【No.4、5】	〃
製品化支援	製品化支援の体制整備に関する評価項目【No.5】について、新たな取組が増えるのに伴って、一つの評価項目の中に様々な事業が混在。 (機器利用指導、オーダーメイド開発支援、知的財産相談)	第二期中期計画での体系整理に合わせて、事業ごとに評価項目を分離。 ※第二期の新たな取組(高度分析開発セクター、実証試験セクター、国際規格対応支援)は、それぞれ別の評価項目として設定。
産学公連携支援	産学公連携・企業間交流支援を目的とした様々な取組について、事業手法ごとに別々の評価項目として設定。 (産学公連携コーディネータ【No.6】、異業種交流会【No.9】、業種別交流会・技術研究会【No.16】)	産学公連携・企業間交流支援に関する取組を、一つの評価項目にまとめる。 ※第二期の新たな取組(東京イノベーションハブでの産学公連携促進事業)は、別の評価項目として設定。
オーダーメイドセミナー	独法化に際して開始した新規事業であることから、単独の評価項目として設定。	事業目的が同じである「技術セミナー・講習会等」と、評価項目をまとめる。
研究成果の普及と技術移転	研究成果の普及・技術移転という観点で事業をまとめており、様々な取組が一つの評価項目の中に混在。【No.23、24】 (職員の派遣、広報媒体を活用した情報提供、展示会等への参加)	第二期中期計画での体系整理に合わせて、事業内容によって評価項目を整理。 (講師派遣・学生受入れ→産業人材の育成、その他→情報発信・提供)
情報システム化の推進	中期計画の体系に沿って、「業務運営の効率化と経費節減」に含める。	第二期中期計画での体系整理に合わせて、「組織体制及び運営」に含める。
施設・設備の整備と活用	中期計画の体系に沿って、「安全管理」「社会的責任」とまとめて一つの評価項目を設定。【No.28】	内容の関連性がより強い、「財務内容の改善に関する事項(資産の適正な管理運用)」と同じ評価項目にまとめる。